

ナイス ヒ nice みる 見つけちゃいました! 
 ◎今月のいいね Vol.24



全日本ジュニアスキー技術選手権大会
全国優勝
 三嶋 理輝 さん (15歳)

町内出身で、現在、江別市の立命館慶祥高校 SP に在籍。中学3年生だった今年3月に、全日本スキー連盟 (SAJ) 主催の第5回全日本ジュニアスキー技術選手権大会で全国優勝を果たしました。

まちの魅力は、そこに住む人の生き方に現れる。『今月のいいね』は、さまざまな分野で活躍中の「まちのひと」を紹介していくコーナーです。



4月30日、町長に全国優勝を報告 (表敬訪問の様子)

■スキーを始めたきっかけなど

北海道に住んでいるので、冬のスポーツを何か一つでも良いので身に付けてほしいとの両親の思いもあり、小学1年生のとき、家族で日高国際スキー場 (日高町) に出かけたことがきっかけです。

小学3年生のとき、父が普段お世話になっている嵐夫妻の紹介で同スキー場のスキーチームに入り、毎週末、父とともに片道約1時間半かけて通い、日が暮れるまで練習に励んでいました。

小学6年生のときに全日本大会で5位に入賞し、日高スキー連盟の会長から、道内トップレベルの選手が集う「ミズノ北海道デモチーム」を紹介され、新人テストを受験し合格しました。チーム内では、全日本大会での成績結果などを踏まえたクラス分けがあり、精神的な重圧もあって思うような滑りができず、苦しい思いをしたときもありましたが、スキーのことだけを考えるよう気持ちを切り替え、信頼するコーチの指導のもと技術を磨いてきました。

全日本ジュニアスキー技術選手権大会

将来、日本のスキー界を背負って活躍するジュニアスキーヤーの育成を目的に創設された大会で、全国からエントリーされたジュニアスキーヤー (小・中・高) が一同に会し、スキー技術などを競う大会

昨年は、新型コロナウイルスの影響で大会が中止となり、悔しい思いをしましたが、その分、夏場からの体幹や筋トレなど地道な自主トレを積み重ねてきました。これまで、両親や周りの方々にたくさんお世話になってきたので「優勝しなければならない」という強い思いを胸に大会に臨みました。中学生生活の集大成を全日本大会で出すことができ、今は、ほっとしています。



スキーチームを紹介した嵐 ご夫妻 (静内旭町)

毎週、私たち家族も日高国際スキー場に通っており、三嶋さん家族とは、そこでよく顔を合わせていました。

理輝の父親とは昔からの仲で、理輝にスキーチームを紹介したところメキメキと上達していききました。

(全国優勝)よく頑張った、大したものです。

●スキーをやりたい子がいたら連絡ください (☎43-3323)。多くの方に日高国際スキー場に通ってほしい。

■今後の目標

大学に進学し、在学中に全日本大会 (成人男子の部) で優勝したいです。将来は、父と同じ職業である建築士になりたいです。

全日本大会で華麗な滑りを見せた三嶋さん

中学生男子の部に73人が出場し、大回り整地、小回り整地、小回り不整地 (コブ)、総合滑降 (大、小回り混合) の4種目で、スピードやターンなどの技術を競い、それぞれで1位、2位など安定した滑りで、総合得点で頂点に立ち、全国優勝を果たしました。中学1年で、SAJスキー検定最難関のクラウンプライズを取得。中学生での取得は全国でも極めて珍しい。



小回り不整地 (コブ)



総合滑降 (大、小回り混合)